



# ドル/円週別レポート

## ドル円の概要

ドル円の週足チャートを分析する。先週は調整の動きが強くなり、木曜日には138.50円を割れる展開となった。しかし、良好な米雇用統計が発表されると、ドル円相場は急騰。週明けは140円台で推移をしている。良好な米雇用統計、日経平均株価の上昇、米利上げ停止を支持するコメントが続出するなど、ドル買い要素が多い。

kokiando が TradingView.com で 6月 05, 2023 08:42 UTC+9 に公開



## 2023/06/05~2023/06/09の予測

現在は140円台に回復。今週はFOMCを控えているため、週の後半は様子見姿勢が強くなるのではないかと予想される。MACDを分析すると、ヒストグラムは堅調に山を形成しており、MACD線がシグナル線を上回り、方向も上向きとなっている。RSIも61と安定的な上昇基調であることを示唆している。

今後は、昨年の為替介入水準である145円に向かっていっだろう。為替介入水準が近づくにつれて、警戒感が

高まり、上値が重たくなると予想される。早めに利益確定は済ませておきたい。今後の市場の焦点は、6月米FOMCに向かっていくことになる。

## ドル円の日足分析



日足を分析すると、52移動平均線が支持帯となって反発。安定的な上昇基調であることが確認できる。日足の場合、次の抵抗帯は、以前のレンジ相場下限である141.70～141.20円付近と想定できる。

MACDを分析すると、MACD線がシグナル線に近づいており、デッドクロスをしないか注意したい。ファンダメンタル的にはリスクオン相場である。

週間予想レンジ	138.45～143.26円
主要抵抗線	141.70円
主要支持線	138.50円



# 海外FX大学



本レポートは、投資判断の参考となる情報提供を目的としております。投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資方針や投資時期等の最終判断および決定は、お客様自身の責任で行ってください。本レポートは、あくまでも予想であり、その結果を保証するものではありません。本情報を元にした結果のいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。